

たくさんのお宝を集めると、ひとつの「かすや」が見えてくる



若杉山[篠栗町]



香椎宮本殿[福岡市]
写真提供:福岡市文化財保護課



阿恵遺跡[粕屋町]



湯蓋の森[宇美町]

古来より、地域と人をつなぎ、文化と物を運ぶものとして「みち」が存在します。私たちが住む糟屋地区にもさまざまな「みち」が存在し、人々の暮らしを支えています。

この糟屋地区をつなぐ「みち」として、山岳信仰と修験の道、糟屋に多くの伝承を残す神功皇后の足跡、阿恵遺跡成立のキーワードとなる古代官道を取り上げてみました。若杉山は霊峰として古くから信仰を集め、多くの修験者が訪れました。香椎宮や宇美八幡宮等、糟屋郡には神功皇后にまつわる伝承が数多く残っています。また、近年発掘調査が実施された粕屋町の阿恵遺跡では古代道路の痕跡が見つかっており、その立地環境が注目されています。

今回、これら糟屋地区に福岡市東区も含めた「かすやの「みち」」をテーマとして、糟屋評として立評された旧糟屋郡の歴史・文化について考えることで、新たな糟屋の魅力を発見したい!と考えています。

13:10
 基調講演
「若杉山と修験の道」
 (50分)
 講師:森 弘子(太宰府発見塾塾長)



森 弘子
 (太宰府発見塾塾長)

14:10
 報告1
「神功皇后伝説とかすやの「みち」
 (30分)
 講師:須永敬(九州産業大学准教授)



須永敬
 (九州産業大学准教授)

14:40
 報告2
「古代官道の成立と阿恵遺跡」
 (30分)
 講師:桃崎祐輔(福岡大学教授)



桃崎祐輔
 (福岡大学教授)

15:20
 シンポジウム構成
 パネルディスカッション**「糟屋をつなぐみち」**(70分)
 多々良川流域の糟屋平野が博多湾沿岸部で占める立場と糟屋地区と福岡市東区を含めた旧糟屋郡の成り立ちや歴史的な背景について討論を行う。

コーディネーター
 森 弘子(太宰府発見塾塾長)

パネリスト (5名)
 須永敬(九州産業大学准教授) 平ノ内武史(篠栗町教育委員会)
 桃崎祐輔(福岡大学教授) 西垣彰博(粕屋町教育委員会)
 菅波正人(福岡市教育委員会)



[主催]福岡都市圏糟屋地域共同事業実行委員会
 [共催]糟屋地区社会教育振興会、古賀市教育委員会、新宮町教育委員会、久山町教育委員会、篠栗町教育委員会、粕屋町教育委員会、志免町教育委員会、須恵町教育委員会、宇美町教育委員会
 [後援]福岡県教育委員会、福岡市教育委員会

クリエイト篠栗
 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲47番地1 TEL092-948-2222
 駐車場には限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

糟屋地区のルーツを探り繋げるプロジェクト
発見の糟屋
 DISCOVERY KASUYA
 平成29年**1月29日** 13:00~16:30
 クリエイト篠栗 大ホール



無料
 (先着順)
 [参加人数]600名